

ろう俳優の寸劇で

聴覚障害者のための メンタルヘルス

手話によるオムニバス『青空が見える～闇の向こうを信じて～』

聞こえない人もちょっとしたことからかかる心の病…

闇の中をさすらう二人、男はアルコール依存症、女はパーソナリティ障害。

これは、二人がまわりの助けを借りて自己を回復する物語です。

● 役者プロフィール ●



庄崎 隆志 (しょうざき・たかし)

1961年生まれ。19歳のとき(1980年)、劇団「デフ・パペット・シアター・ひとみ」に入団。2005年に独立して「office 風の器」を主宰。コトバや性別、年齢、国境を越えて楽しめることをモットーにして、無言劇、日本舞踊等、様々な手法を用い、視覚的コミュニケーションを追求した舞台やコンテンポラリーダンスを創り、劇作家、演出、個性派も手掛けます。2009年には全日本ろうあ連盟制作の映画『ゆずり葉』で主役の木村敬一を演じる。現在、コンテンポラリー『波無烈斗～ハムレット～』公演など活動中。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。



河合 祐三子 (かわい・ゆみこ)

北海道出身。地元の劇団「舞夢(マイム)」での演劇活動を経て上京、シリアスなものからユーモラスな作品まで、個性豊かなキャラクターを活かし、幅広いジャンルの舞台に挑戦し続けている。1995年、演劇の勉強のためアメリカ・デフ・シアター主催のサマースクールに参加。2000年、NHK番組(Eテレ)「手話ニュース」のキャスターに抜擢され、現在「子ども手話ウィークリー」「手話ニュース 845」に出演中。

日時：2018(平成30)年1月21日(日)午後1時～4時(受付12:30～)

会場：大分県総合社会福祉会館4階 大ホール

参加費 500円

*参加費は当日受付でお支払い下さい。

主催／一般社団法人日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会

主管／社会福祉法人大分県聴覚障害者協会

後援／大分県、大分市

プログラム

- 12:30～ 受付
13:00～ 開会のあいさつ・企画趣旨説明
13:30～ レクチャー（ちょっと学んでみよう）
「きこえない人のメンタルヘルス」
講師：日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会
14:00～ オムニバス「青空がみえる～闇の向こうを信じて」
脚本：青木淑子
出演者：庄崎隆志・河合祐三子
15:20～ フリートーク
15:50～ まとめ、閉会のあいさつ
16:00 終了

**相談コーナー
を開きます！**

※事情によりプログラムの内容が変更することもあります。
ソーシャルワーカー等による相談コーナーを開催します。

相談したい方は下記の時間帯にお越しください。

場所：大分県社会福祉会館 3階研修室

① 10:30～12:00 ② 15:00～16:00

（定員各4人まで。先着順で締め切ります）

■申し込み

2018（平成30）年1月6日（土）までにFAX・メール・電話にてお申し込みください。

※手話通訳・要約筆記が付きます。

※大変申し訳ありませんが趣旨をご理解いただきたく小学生以下のお子さんをご遠慮ください。

■申込み・お問合せ先

社会福祉法人 大分県聴覚障害者協会

（〒870-0907 大分市大津町1丁目9番5号）

FAX：097-556-0556 TEL：097-551-2152 Eメール：info@toyonokuni.jp

ろう俳優の演劇で学ぶ「聴覚障害者のためのメンタルヘルス」学習会申込書

氏名		<input type="checkbox"/> 聴覚障害者
		<input type="checkbox"/> 健聴者
連絡先	FAX	
	TEL	
	メールアドレス	

